
**阪神・淡路大震災
尼崎市の記録**

尼崎市

震災文庫 4 - 505

阪神・淡路大震災 尼崎市の記録

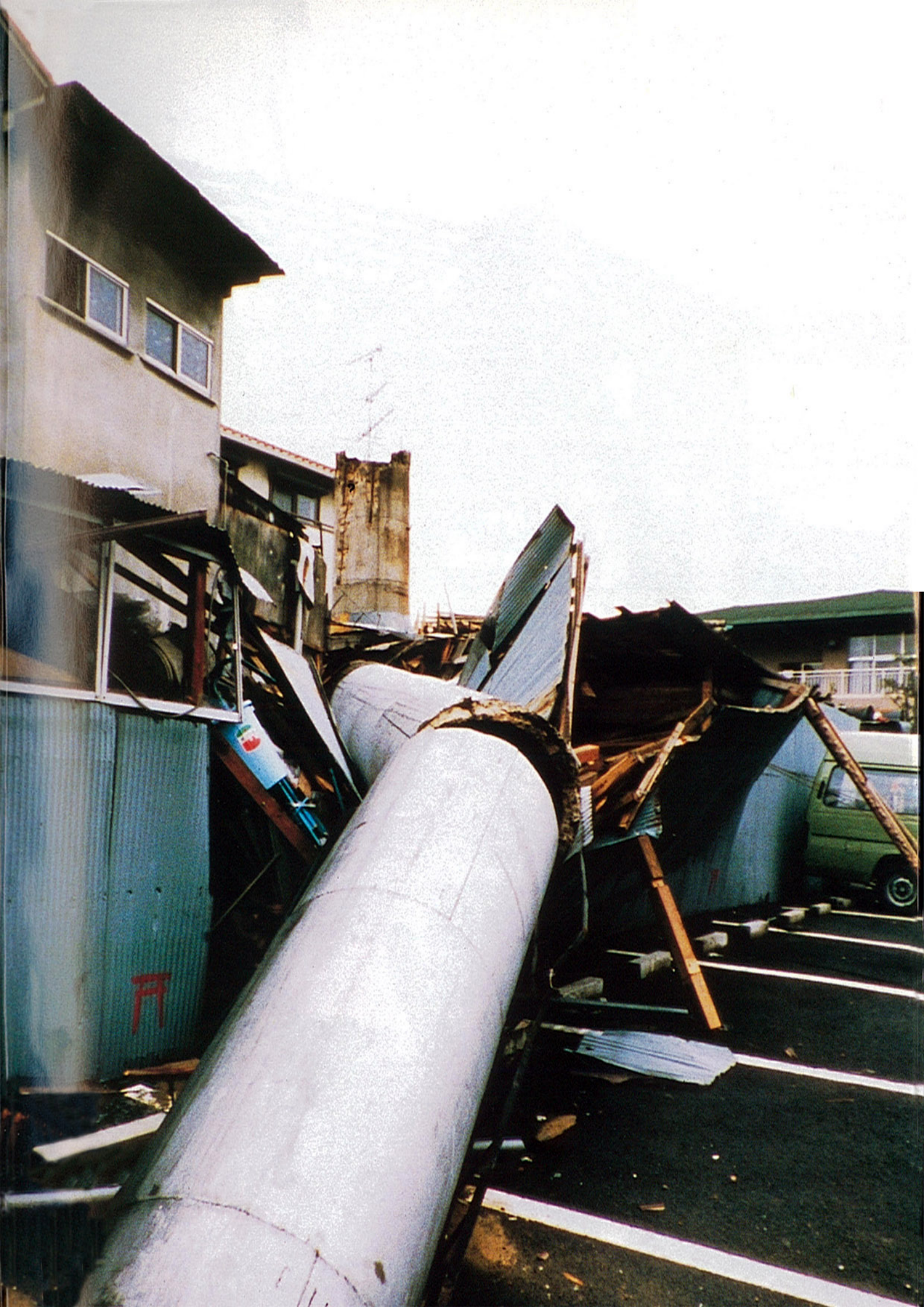


尼崎市



建築時期の古い木造住宅は、市内全域で大きな被害を受けた







多くの死者をだした立花町3丁目の火災現場



南武庫之荘では7階建のマンションが崩壊



全壊した築地南浜1丁目の初島神社



破損した県指定文化財の長遠寺の庫裏



液状化でめくれあがった道路（築地）



東高洲橋では段差ができ、通行不能に



斜面が崩れ落ちた武庫川堤防沿いの道



水道管が破裂し、水浸しになった道路



公園でも園路舗装の亀裂などの被害が



臨海部で液状化が発生。運河沿いでは大きな亀裂ができた



尼崎港公共荷揚げ場が全体的に沈下、ごみが打ち上げられた



中島川防潮堤がひび割れ漏水



落下した新幹線のけた（食満6丁目）



大きな被害を受け、新築することになった市立尼崎高校



散乱した市役所地下倉庫の書類



避難所にはピーク時9千人をこえる市民が



災害廃棄物は武庫川ファミリーパークに野積みした



発生量が多く焼却が追いつかないため、民間企業のグラウンドを借りて仮置きされたごみの山



記念公園総合体育館のサブアリーナに山積みされた救援物資

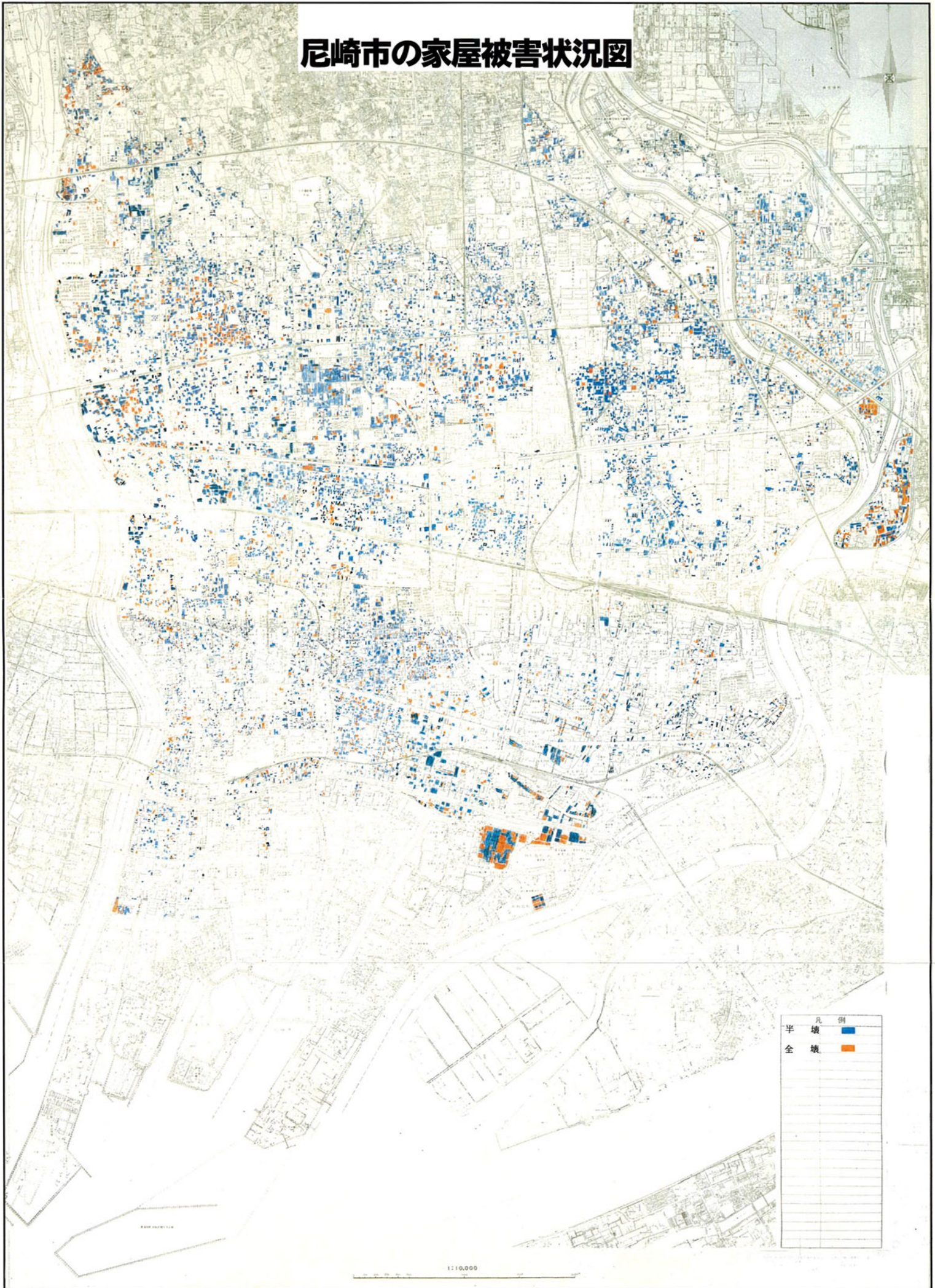


市内50か所に2,218戸の仮設住宅を建設

震災後の3月5日、兵庫県南部地震尼崎市犠牲者合同慰霊祭が行われた



尼崎市の家屋被害状況図



注：この図は、義援金申請等をもとに家屋の被害状況を調査した結果によって作成したものである。（平成7年5月31現在）



発刊にあたって

尼崎市長 ✧ 宮田良雄

平成7年1月17日午前5時46分、突如として兵庫県南東部を襲った大地震は、無残にも6千人を超える尊い命を奪い、長い年月にわたって築き上げてきた都市の基盤施設や財産を一瞬にして崩壊させるという、未曾有の大被害をもたらしました。

本市におきましても、49人もの市民の尊い生命が失われ、7千人余の方々が負傷されました。また、多くの家屋が全・半壊し、道路や橋りょう等の各種公共施設の損壊、ライフラインの寸断など大きな被害を受けました。

この大地震から得られた貴重な教訓を踏まえ、市民の皆様が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進め、21世紀に向けた「明るくさわやかなまち」づくりに、全力で取り組んでいるところです。

この記録集は、阪神・淡路大震災での本市の被害状況や応急復旧の対応、救援活動などを史実として後世に伝え、今後の防災対策に役立てることを目的として編纂しました。安全で安心して暮らせる地域社会づくりのために役立てば幸いです。

多くのボランティアの方々や他都市からの応援職員の皆様をはじめ関係各位からいただいたご支援・ご協力に対し心より厚くお礼申し上げます。



発刊に寄せて

尼崎市議会議長 ◆ 石本 徹

静寂を破る不気味な轟音とともに突如として襲った大地を揺るがす激しい揺れ。わずか十数秒間の烈震は尼崎のまちの様相を一変させ、恐怖と混乱の中で数多くの尊い人命と市民の皆様のかげがえのない財産を一瞬にして奪い去りました。これまで営々として築き上げてきたそれぞれの生活の痕跡すらも掻き消したあの忌まわしい日、平成7年1月17日。私たちはこの日を終生忘れることはないでしょう。

その中で、全国各地から寄せられた温かい励ましや自治体などからの応援、そして何にも増してボランティアの方々の献身的な活動は、失うものの多かった今回の震災で被災者の方々を勇気づける一条の光明であったと言えます。

議会におきましても、震災直後から災害復興促進特別委員会の設置をはじめ、各種会議での熱心な協議に加え、国や県への震災復興支援の要請などの諸活動を通じて、一日も早い復旧・復興に努力してまいりました。

今後とも、被災者の方々はもとより、本市のまちづくりにとって真に必要な施策は何なのかということを見極めながら、復興事業の推進に全力で取り組んでまいる決意です。

最後に、本書が未曾有の被害となった阪神・淡路大震災における尼崎市の災害記録として今後の防災対策に幅広く活用されることを心から期待します。

総目次

第1部 尼崎市と自然災害

第1章 尼崎市の概要	3
第1節 概要	3
第2節 歴史	4
第3節 人口	5
第4節 土地利用	5
第5節 交通体系	5
第6節 産業構造	5
第2章 過去の自然災害と防災対策	7
第1節 自然災害	7
第2節 震災前の防災対策	12

第2部 すべてはその日から始まった

第1章 1995年1月17日	21
○その時市長は — 私の1月17日	21
第1節 兵庫県南部地震の発生	23
第2節 初動体制	28
第3節 消火・救助・救急活動	47
第4節 市民生活への対応と対策	51
第5節 災害救助法の適用	55
第2章 不安と混乱を乗り越えて	57
○その時市長は — 震災の日々	57
第1節 災害対策本部の活動	60
第2節 被災者の救援・生活支援対策	67
第3節 避難者への対応	95
第4節 各種相談窓口の設置	110
第5節 学校の再開へ	117
第6節 建築物の応急危険度判定	123

第3章	何かできることがあれば(救援活動)	127
第1節	ボランティア活動	127
第2節	自治会活動と市民の協力	137
第3節	自衛隊による救援活動	140
第4節	広域応援活動	142
第5節	防災組織の活動	148

第4章	尼崎のまちは(被害状況)	153
第1節	死傷者	153
第2節	家屋の被害	155
第3節	商工業関係の被害	159
第4節	危険物施設の被害	163

第3部 復旧から生活再建へ

第1章	都市基盤施設の被害と復旧	169
第1節	土木施設	169
第2節	水道施設	173
第3節	下水道施設	176
第4節	電力施設	177
第5節	ガス施設	182
第6節	電気通信施設	185
第7節	交通機関	189

第2章	被害集中地区(築地・戸ノ内・東園田)	199
-----	--------------------	-----

第3章	公共施設等の被害と復旧	207
第1節	教育施設等	207
第2節	福祉施設・医療施設等	215
第3節	文化財等	222
第4節	その他公共施設	230
第5節	市庁舎施設	238

第4章	手をさしのべて(救済措置)	249
第1節	被災者対策	249
第2節	避難所の運営	270
第3節	住宅対策	275

第4部 復興へのみちしるべ

第1章	市議会活動 —————	307
	第1節 災害復興促進特別委員会 —————	307
	第2節 本会議・常任委員会 —————	318
第2章	国・県への要望活動 —————	323
	兵庫県議会議員選挙の実施 —————	325
第3章	復興と防災都市づくりに向けて —————	329
	兵庫県南部地震尼崎市犠牲者合同慰霊祭 —————	329
	第1節 財政対策(一般会計予算) —————	331
	第2節 震災復興 —————	335
	第3節 防災都市づくり —————	389
資料		
	1 平成7年1月17日から平成8年3月末までの動き —————	399
	2 「災害対策本部からのお知らせ」ビラ —————	415
	3 尼崎市震災記録編纂委員会設置要綱 —————	455
	4 尼崎市震災記録編纂委員会委員名簿 —————	456
	項目別索引 —————	457



この記録は、全4部だてで、第1部は尼崎市のあらまし、第2部と第3部は震災への対応、第4部は復興関連としている。震災への対応については、時間をおって、第2部第1章「1995年1月17日」は地震当日の各職場の様子、同第2章「不安と混乱を乗り越えて」は、おおむね18日から約2週間の緊急対応という組み立てにした。同第3章・第4章は応急対策への市民等の応援、市民の被災状況の把握、第3部「復旧から生活再建へ」は各種施設の被害と復旧、被災者への救済措置をまとめている。同一事項が各部各章にわたることがあるため、目次に加えて項目別索引を巻末に付した。

【細目次】

第1部 尼崎市と自然災害

第1章 尼崎市の概要	3
第1節 概要	3
第2節 歴史	4
第3節 人口	5
第4節 土地利用	5
第5節 交通体系	5
第6節 産業構造	5

第2章 過去の自然災害と防災対策	7
第1節 自然災害	7
1 風水害	7
2 地震	8
第2節 震災前の防災対策	12

第2部 すべてはその日から始まった

第1章 1995年1月17日	21
○その時市長は — 私の1月17日	21
第1節 兵庫県南部地震の発生	23
1 震度	25
2 尼崎市での被害のあらまし	27
第2節 初動体制	28
1 災害対策本部の設置	28
2 本部員会議の開催	28
3 それぞれの職場では	32
4 通信の不通と情報収集	42
5 広報活動	43
第3節 消火・救助・救急活動	47
1 消防部本部の開設	47
2 消火活動	49
3 救助・救急活動	50
4 消防団の活動	50
第4節 市民生活への対応と対策	51
1 市民からの問い合わせ	51
2 避難者への対応	52

3 応急給水の実施	53
4 交通障害と対策	54
第5節 災害救助法の適用	55

第2章 不安と混乱を乗り越えて 57

○その時市長は — 震災の日々 57

第1節 災害対策本部の活動 60

- | | |
|--------------|----|
| 1 災害情報の収集と伝達 | 60 |
| 2 市民への情報提供 | 62 |

第2節 被災者の救援・生活支援対策 67

- | | |
|-------------|----|
| 1 被災者の救援 | 67 |
| 2 死亡者への対応 | 74 |
| 3 負傷者への対応 | 76 |
| 4 物資の調達 | 81 |
| 5 応急給水活動 | 81 |
| 6 生活環境衛生対策 | 83 |
| 7 ごみ・廃棄物の処理 | 87 |
| 8 住宅の確保 | 90 |
| 9 り災証明書の発行 | 93 |

第3節 避難者への対応 95

- | | |
|------------------------|-----|
| 1 第1次避難所 | 95 |
| 2 避難者の状況 | 99 |
| 3 学校間オンラインシステムでの避難者数把握 | 107 |
| 4 生活必需物資の供給 | 108 |

第4節 各種相談窓口の設置 110

- | | |
|------------------|-----|
| 1 総合相談窓口 | 110 |
| 2 各支所相談窓口 | 111 |
| 3 中小企業災害対策特別相談窓口 | 112 |
| 4 各種相談 | 113 |

第5節 学校の再開へ 117

第6節 建築物の応急危険度判定 123

第3章 何かできることがあれば(救援活動) 127

第1節 ボランティア活動 127

- | | |
|--------------------|-----|
| 1 ボランティアの受け入れと派遣 | 127 |
| 2 ボランティアの活動 | 130 |
| 3 ボランティアセンターでの取り組み | 132 |
| 4 その他のボランティア活動 | 134 |
| 5 ボランティア保険 | 136 |

第2節 自治会活動と市民の協力 137

第3節 自衛隊による救援活動 140

第4節 広域応援活動 142

- | | |
|---------------|-----|
| 1 救援物資・義援金の受領 | 142 |
| 2 他都市からの応援活動 | 144 |

3 他都市への応援活動	146
第5節 防災組織の活動	148
1 共同防災組織	148
2 自主防災組織	149
3 自衛消防隊	150

第4章 尼崎のまちは（被害状況）	153
第1節 死傷者	153
1 死亡者	153
2 負傷者	153
第2節 家屋の被害	155
第3節 商工業関係の被害	159
第4節 危険物施設の被害	163

第3部 復旧から生活再建へ

第1章 都市基盤施設の被害と復旧	169
第1節 土木施設	169
1 道路・橋りょう	169
2 公園・河川	170
3 港湾施設	170
第2節 水道施設	173
第3節 下水道施設	176
第4節 電力施設	177
第5節 ガス施設	182
第6節 電気通信施設	185
第7節 交通機関	189
1 市営バス	189
2 山陽新幹線	195
3 阪神電車	196
4 阪急電車	198

第2章 被害集中地区（築地・戸ノ内・東園田）	199
1 築地地区	199
2 戸ノ内地区	202
3 東園田町8丁目地区	204

第3章 公共施設等の被害と復旧	207
第1節 教育施設等	207
1 学校施設	207
2 社会教育・スポーツ施設	211
3 青少年教育施設	213

第2節	福祉施設・医療施設等	215
1	福祉施設	215
2	児童福祉施設	217
3	障害者福祉施設	219
4	医療施設・保健施設等	220
第3節	文化財等	222
1	文化財	222
2	歴史的建造物	227
第4節	その他公共施設	230
1	市営住宅	230
2	地区会館	230
3	共同利用施設	230
4	市立福祉会館	231
5	地域集会所	231
6	総合文化センター	231
7	公営事業所	232
8	地域研究史料館	235
第5節	市庁舎施設	238
1	市役所本庁舎	238
2	支所	240
3	出張所	241
4	職員研修所庁舎	242
5	環境事業部	242
6	クリーンセンター	246

第4章 手をさしのべて（救済措置） 249

第1節	被災者対策	249
1	義援金・援護金の配分	249
2	災害弔慰金の支給	251
3	税・使用料の減免	252
4	各種負担金・利用料の免除	257
5	災害対策特別融資あっせん	259
6	被災児童・生徒の受け入れ	265
7	市民施設への避難所経費助成	266
8	被災動物の救護	267
9	仮工場・事務所情報の提供	268
第2節	避難所の運営	270
1	第1次避難所から第2次避難所へ	270
2	第2次避難所の運営	272
第3節	住宅対策	275
1	建物の解体撤去と災害廃棄物の処理	275
2	応急仮設住宅の建設	289
3	災害復興公営住宅の建設	292
4	公営住宅等への入居あっせん	295
5	民間住宅の再建支援	296

第4部 復興へのみちしるべ

第1章 市議会活動	307
第1節 災害復興促進特別委員会	307
第2節 本会議・常任委員会	318

第2章 国・県への要望活動	323
兵庫県議会議員選挙の実施	325

第3章 復興と防災都市づくりに向けて	329
兵庫県南部地震尼崎市犠牲者合同慰霊祭	329
第1節 財政対策(一般会計予算)	331
1 平成6年度補正予算	331
2 平成7年度当初予算	331
3 平成7年度補正予算	332
4 財政再建への取り組み―「財政計画の策定」	333
第2節 震災復興	335
1 震災復興への市民提言	335
2 震災復興基本計画	336
3 震災復興計画	343
4 震災復興産業関係者会議と産業振興中期計画	388
第3節 防災都市づくり	389
1 防災都市づくりに向けて	389
2 尼崎市防災支援隊	390
3 地域防災計画	391
4 広域応援協定	395

資料	
1 平成7年1月17日から平成8年3月末までの動き	399
2 「災害対策本部からのお知らせ」ピラ	415
3 尼崎市震災記録編纂委員会設置要綱	455
4 尼崎市震災記録編纂委員会委員名簿	456

項目別索引	457
-------	-----